



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和6年8月26日(月) No 17 発行
文責：松本 卓也

学校ではできない出会いや学びを楽しみましたか

夏休みはどのように過ごされましたか。子どもたちが、「命を守る」という約束を守り、元気に登校してくれたことを何より嬉しく思います。保護者の皆さまには、お子様の体調管理や生活面、学習面での見守り等、大変お世話になりました。今夏開催されたパリオリンピックでは、海外五輪では最多となる金メダル 20 個を獲得しました。日本のチームや選手の活躍に、日々勇気と感動をもらいました。なかでも、「団体金メダルだけでお腹いっぱいなので。悔しいよりも幸せすぎて涙がでちゃった。【橋本大輝選手：体操個人総合 6 位】」、「技術とパワーが足りなかった。悔しさを持ち帰るには一番いい順位。悔しい方がこの後強くなれる。この順位でよかった。【森秋彩選手：スポーツクライミング 4 位】」等、敗戦の中でも清清しく思いを語るアスリートの言葉に心打たれました。スポーツの魅力や価値を子どもたちも感じてくれればと思います。さて、本日より 2 学期がスタートしました。子どもたちは、夏休み中も部活動や駅伝・体力づくり、学習会等、さまざまな活動に意欲的に頑張ってくれました。2 学期も、「自律・協働・貢献」する生徒の育成に向け、自主的・実践的な活動をたくさん経験させてまいります。保護者の皆さまには、お願いすることが多々あるかと思いますが、本校教育への引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



種山石工の偉大な功績を 実体験として学びました

22 日(木)、ボランティアガイド視察研修を行いました。視察したのは「壺台橋」と「通潤橋」です。バスやトラックが走れる堅牢さや、勢いがある多量の水の安んずる先人技術を驚かされた。改めて種山石工の偉大な功績を実体験として学びました。今後のガイドに生かしていきたいと思ひます。



合同地区懇談会、お世話になりました

7 月 24 日(水)に合同地区懇談会が行われました。「横断歩道で子どもが渡ろうとしたときに、止まった車の横から 2 台の車が追い越していった。注意喚起の看板を地域等で設置したい。」「スマートフォンは、使用時間を決める等、学校生活に影響が出ないように制限して使っている。」等、子どもたちを取り巻く環境について、貴重な情報交換ができました。とても有意義な会になりました。



【編集後記】色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです

▼多くの尊い命を奪った太平洋戦争が終結して 79 年が過ぎました。当たり前の日常や誰もが幸せに生きることができる世の中を創っていくことは、今を生きる私たちの「使命」だと考えます。▼6 日(火)に開催された広島平和記念式典では、小学生二人がこども代表として、「平和への誓い」を読み上げました。



目を閉じて想像してください。緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。79 年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。(中略)

今もなお、世界では戦争が続いています。79 年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たち、明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。本当にこのままでよいのでしょうか。

願うだけでは、平和はおとずれません。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。一人一人が相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合ひましょう。世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。 令和 6 年 8 月 6 日 こども代表【出典：広島市 HP】

▼戦争は決して遠い昔の出来事でも、他人事でもありません。今、世界で起こっている「戦争行為」について、私たちみんなが一歩踏み出すことが大切です。東陽中の子どもたちが「平和」を創る主体者として育ててほしいと願っています。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()